

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |            |    |            |
|----------------|------------|----|------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年2月10日 |    | 2025年2月22日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)     | 29 | (回答者数) 7   |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年2月10日 |    | 2025年2月26日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)     | 10 | (回答者数) 10  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月1日  |    |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                   |
|---|---|---|--|
| 1 | 学習支援                                      | “できる”を増やせるよう、学習状況を確認し、アセスメントしている。様々な教材を用意し、子供の学習進度に合わせて活用している。<br>集中して学習に取り組めるよう、パーティションを利用して空間を仕切っている。                             | 職員が個々人でアセスメントを行っているため、事業所内で統一されたアセスメントツールを取り入れる。 |
| 2 | “つくる”体験の提供                                | 季節の行事に合わせた工作やお菓子作りを行っている。また、月に1回、外部講師を招いて造形教室を開催している。   | 平等な体験の機会を提供するために、より計画的に準備を行う。                    |
| 3 | 5領域に対応した活動の提供                             | 本、アイロンビーズ、ボードゲームなどを用いて、こどもが楽しみながら自らの力を生かして伸ばすことができるような機会を提供している。ボードゲームなど、ルールがある遊びでは、こどもの理解度に合わせてルールを変更している。小学生から高校生まで一緒に遊ぶ機会を設けている。 | 体を動かす活動の提供ができるよう、室内レクリエーションや公園などへの外出を検討する。       |

|   | 事業所の弱み(※)と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等                        | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                            |
|---|--|--|---|
| 1 | 父母の会やきょうだいの会など、家族が交流できる機会が設けられていない。      | 家族支援の方法や時間の確保について十分検討できていなかった。           | こどもだけでなく、こどもにとって身近な存在である家族の支援ができるよう、事業所全体で検討する。 |
| 2 | 地域の住民やこどもと交流する機会が設けられていない。               | 今年度に新規事業として開所したため、交流が不十分。                | 他の放課後等デイサービスと情報共有を行い、交流の機会を検討する。                |
| 3 | チームとしての連携が不十分。                           | 非常勤の職員が多く、勤務時間が異なるため、一堂に会して話し合う時間を設けにくい。 | 定期的に全体ミーティングを開催し、意見交換・共有の場を設ける。                 |